

さんぽ木木だより

2014
秋号
vol.10

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

とろろあおい
心が散っていると
散りゆく花の心も
受けとめずに終わる
かすかに咲いて
かすかに終わった
とろろあおいの花

(「詩集・詩国第二集」より)



トロアオイ

館長エッセイ

【第十回】真民詩を理解するためのポイント[その1]
人生の転機になった3つの出来事

真民詩とわたし

砥部で結ばれたかけがえのない縁
稲荷喜久夫さんと真民さん、青芳さん

真民詩を読み解く⑨

清い純粋な思いを感じて欲しい
「バスのなかで」

記念館からのお知らせ

平成26年度坂村真民記念館
ボランティアガイド養成講座・募集要項

企画展のお知らせ

「砥部時代の坂村真民 第二部」

ちよっと手ほどき

真民さんを支えた久代夫人の美質

【第十回】真民詩を理解するためのポイント「その一」

人生の転機になった3つの出来事

坂村真民の詩を理解するうえで、欠くことのない出来事や人との出会い、生活の変化等について、2回に分けて私なりに整理して考えを書いてみたいと思います。1回目は、人生に大きく影響を与えた3つのことについて。

◆父の死と母の覚悟

坂村真民の人生の中で最大の事件（出来事）は、8歳の時の父の死です。（出来事）は、8歳の時の父の死です。小学校校長だった父が42歳で亡くなり、父の実家に間借りして生活していた時、母方の祖母から、「5人の子供を育てるのは無理だから、上の3人は



小学校入学前に撮った家族写真(右端)

どこかにやるか奉公に出すかして、下の2人だけ連れて帰ってこい」と強く言われたのに、母は頑として「はい」と言わず、苦労を覚悟して5人の子供を育てる決心をします。

この時母は36歳、姉11歳、真民8歳、妹6歳、次弟3歳、三男11か月でした。母と祖母の話部屋の隅でじつと聞いていた真民は、「養子に出されることもなく、母と兄弟全員が一緒に暮らすことが出来るのは、ただただ母の強い覚悟があったからなのだ」ということを骨身に沁みて感じたのです。

これが真民の母に対する恩の原点となります。苦しい家計をやりくりして旧制中学から神宮皇学館まで行かせてくれた母への恩に答え、その大恩に如何に報いて生きてゆくか、というところが、その後の生きる原動力となり、詩を書き続けた原点なのです。

◆大乘寺参禅と春苔尼先生との邂逅

坂村真民にとって本当の意味での

「仏」との出会いは、吉田町で大乘寺を知ったときにあります。当時真民は、「人間としていかに生きるべきか」ということを真剣に考えていた時期。大乘寺は、臨済宗妙心寺派の四国で唯一の専門道場を持つ格式の高いお寺で、そこに後に臨済宗方広寺派の管長になられる河野宗寛老師が住職をされていました。

真民は河野老師の人的魅力に魅かれ、この人の許で参禅する決意をします。その間に仏教だけでなくキリスト教やイスラム教も深く学びました。

そして、大乘寺が縁で真民が生涯唯一の師として仰いだ杉村春苔尼先生との出会いが生まれるのです。神戸生まれの春苔尼先生は愛媛の資産家に嫁がれましたが、わけあって家を出、大乘寺に身を隠されていました。その後大分で出家、足利紫山老師の下で修業をされたのち、洋裁の技術を生かして戦争未亡人の救済活動に全生涯をささげられた方です。

真民は大乘寺で春苔尼先生の話を聞き、その人間性に魅かれ、最初は文通からはじまったのですが、真民の母が亡くなった時期に初めてお会いし、運命的な出会いをするわけです。

母が亡くなり、茫然とした状態のままにその時に春苔尼先生と出会い、温かな優しさのこもった慰めの言葉と愛情をいただいて、母の死を乗り越えることが出来ました。

◆一遍上人との出会い

一遍上人との出会いも真民の生き方を大きく変えました。真民は、50歳の時に宝蔵寺を訪ね初めて一遍上人と対面し、その足に触れて一遍上人と魂の交流をし、生き方に共感を覚えました。一遍上人は「南無阿彌陀仏決定往生60万人」というお札を願をかけて配りましたが、25万1千人に配ったところで亡くなったのを受けて、自分は詩の冊子を配ることで跡を継ぐ決意をして「詩国」を発刊したのです。（詩国発刊に際しては、森信三先生の大きな励ましがあったことを付記します。）

一遍上人の生き方から学んだことは、不要の物を持たないことでした。真民は生涯自分の財産を持たず、家族が生きていけるだけの物を残し、一切金銭に執着しない人でした。

こうした出来事と人との出会いを、数々の詩の背景に置いて読んでいただくと、さらに深く真民詩の魅力が発見できるものと思います。

砥部で結ばれたかけがえのない縁

稲荷喜久夫さんと真民さん、青芳さん

坂村真民、稲荷喜久夫、森元青芳——たどってきた人生も個性もまったく異なる3人が砥部で出会い、家族ぐるみのつきあいが始まった。気のおけない仲間は、朴の花弁に酒を注ぎ、真民碑の除幕にあわせて全国を旅した。お父様の思い出と3人の交遊について、稲荷喜久夫さんの長男・元作さん(68歳)にうかがった。

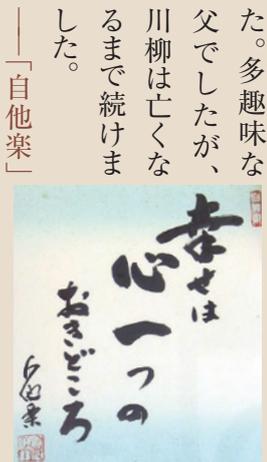


森元青芳さんと(昭和62年)



麻子夫人の61歳の誕生日を記念して建立された61番碑

—お父様は川柳がご趣味でしたね。山頭火を好きでしたが、父が俳句ではなく川柳にしたのは、思いや生き方を率直に表現できると思ったからでしょう。昭和55年の退職記念句集『幸せ』で初めて「自他楽」の号を使いました。多趣味な父でしたが、川柳は亡くなるまで続けました。



「自他楽」とは深いですね。

父の思想の根底には戦争体験があったと思います。20歳で戦争に行き、満州で騎兵隊に属していたそうです。生死の境をさまようような経験などをし、川柳を自他とともに楽しむという意味で、この号を使ったのだと思います。

—昭和30年代後半に森元青芳さんのおつきあいが始まりましたね。

青芳さんは寝食を忘れて制作に没頭する。そのパワーと気持ちが人形に乗り移っているといつて、父は強く感動していました。

—真民さんとの出会いは？

「六魚庵箴言」に感銘を受けた父は、先生にお会いしたいとずっと望んでいたようです。理正院の「つゆくさの会」には時々顔を出していたようですが、本格的なおつきあいが始まったのは退職後です。

—手帳によれば、昭和55年から亡くなるまで26年間に1200日も真民さんのお宅を訪問していますね。

平成2年に朴庵例会が発足したこともあり、1日に4回ぐらいお宅にうかがったこともあるようです。先生に

お会いするたびに、真剣な生き方に惹かれていったのではないのでしょうか。

—詩碑を建立されていますが…。

母の61歳の誕生日を記念して61番碑を建立しました。それからは毎年、建立記念日にみなさんがわが家に集まり、食事をしながら話はずみしました。互いを尊敬しあう、得難い仲間だったと思います。戦争も経験しましたが、晩年は3人で楽しい時間を過ごすことができて満足だったと思います。

平成17年に85歳で亡くなりましたが、父が生きていたら、何度でも真民先生の詩や書に触れることができる記念館の設立をさぞ喜んだことと思います。

〔追悼詩〕

陰徳の人

砥部に来てよかつたのは、稲荷喜久夫さんにお会いしたことである。

毎月の朴庵の会が続けられたのも、この方がおられたからである。

人には陰徳というのがある。喜久夫さんは、そういうものを持っておられた。

長い人生の中で、どんな人と会うか。それは天なり、命なりかも知れないが、わたしはこの人を失って、大きな宝をなくした思いがする。

(平成17年4月1日発行「鳩寿」13号より。真民は同号を稲荷さんの追悼号とし、3編の詩を寄せた)

清い純粹な思いを感じて欲しい

「バスのなかで」

今回は、現在開催中の「砒部時代の坂村真民展第一部」で展示している「バスのなかで」を取りあげます。

この詩は、坂村真民の詩の中でも、特に純粹な気持ちを持って生きることを詠ったものとして、私が好きな詩の一つです。「たとえ核戦争で、この地球が破壊されようと、そのぎりぎりの時までこうした愛を失わずにゆこう」と思った、真民の清い純粹な思いを、私達も受け継いでいきたいと思うのです。

「自分の命よりも大切なもの」を守ろうとする気持ち、そうした愛があれば、核戦争は起こらないと思います。こうした気持ちを大切にすることこそ、日本人が長く大切にしてきた「日本人の心」だったのではないのでしょうか。是非とも多くの日本人にこの詩を読んでもらいたいと思います。さて、記念館の展示室には、鎌倉の円覚寺の横田管長に揮毫していただ

いた「バスのなかで」の詩墨作品が展示されています。

この詩の真民直筆の詩墨作品がなく、砒部時代初期の代表的な作品としてこの詩を展示したいと考えていたとき、この詩を大切にしている方も講演とか法話で使っておられた、横田管長のことが頭に浮かび、是非揮毫していただきたいとお願いして実現したものです。

日本の仏教界を代表する横田管長がこの詩を大切に、紹介して下さっているということは、まだまだ日本人にもこうした方がいるのだということを実感出来、最近の日本の国の動きを心配していた私には、救いでもありほつとする気持ちになります。

皆さんも、是非とも記念館で、横田管長揮毫の「バスのなかで」を見て、読んでください。真民の、本当に純粹で穢れない気持ちが、きつと伝わってくると思います。



この地球は
一万年後
どうなるかわからない
いや明日
どうなるかわからない
そのような思いで
こみあうバスに乗っていると
一人の少女が
きれいな花を
自分よりも大事そうに
高々とさしあげて
乗り込んできた

その時

わだしは思った
ああこれだよいのだ

たとい明日

この地球がどうなるかと

このような愛こそ

人の世の美しいものだ

たとえ核戦争で

この地球が破壊されようと

そのぎりぎりの時まで

こころした愛を

失わずにゆこうと

涙ぐましいまで

清められるものを感じた
まいまい花であった

南嶺洋寫



あなたもボランティアガイドをして 自分を成長させませんか



平成26年度坂村真民記念館 ボランティアガイド養成講座・募集要項

昨年に引き続き、今年も記念館のボランティアガイド養成講座を開講します。
要項は下記のとおり。あなたもチャレンジしてみませんか。

受講無料

受講期間 平成26年
9月12日(金)～12月5日(金) [全9回]

定員 30名程度(先着順)
受講決定者には、記念館より「決定通知」をお送りします。

場所 坂村真民記念館
会議室 **募集期間** 平成26年
9月11日(木)まで

募集受付 希望者は、電話かメールで申し込みください。
メールの方は、氏名、住所、年齢、性別、電話番号を
記載してお送りください。
〈電話〉089-969-3643
〈メール〉info@shinmin-museum.jp
問い合わせ先 TEL089-969-3643(坂村真民記念館)

修了者には修了証書を授与し、27年1月からガイドとして活動していただきます。

現在30名の方が活動されています。
(30代から80代まで幅広い方々がいらっしゃいます。)

講座を修了し、
現在ボランティアガイドとして
活躍されている方々の声

- 来館者の方から質問を受け、館長に聞いたり、自分で調べていく中で、自分が知らなかった真民さんのことが良く分るようになった。
- 来館者の方が熱心なファンで、色々教えてもらうことが何度もある。
- 来館者の方と話をすることにより、自分自身が成長することに気付いた。

講座概要・日程表

回数	日時	講座内容	講師
1	9月12日(金) 10:00～12:00	開講式 坂村真民の生涯(1)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
2	9月19日(金) 10:00～12:00	坂村真民の生涯(2)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
3	9月26日(金) 10:00～12:00	坂村真民の人生と詩について(ビデオ鑑賞)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
4	10月3日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(1) 三瓶・吉田時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
5	10月10日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(2) 宇和島時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
6	10月17日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(3) 砥部時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
7	10月24日(金) 10:00～12:00	家族にとっての坂村真民	長女 田中 梨恵子 三女 西澤 眞美子
8	11月7日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(講義)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
9	12月5日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(実習) 修了式	坂村真民記念館館長 西澤孝一

「砥部時代の坂村真民」

第二部

最晩年の生き方を浮かび上がらせる

期間

平成26年 10月10日(金)
～平成27年 3月1日(日)

企画展:砥部時代 第二部展

平成2年1月より、砥部にオープンした開花亭で「朴庵例会」が始まり、全国から熱心な真民詩のファンが集まります。「全国朴の大会」が全国各地で開催され、真民詩がさらに全国へと広がることとなります。

一方で、妻が病气(乳がん、くも膜下出血、脳梗塞)となり、寝たきりの状態が平成6年から12年間続く中で、妻を詠った詩が多数作られる。

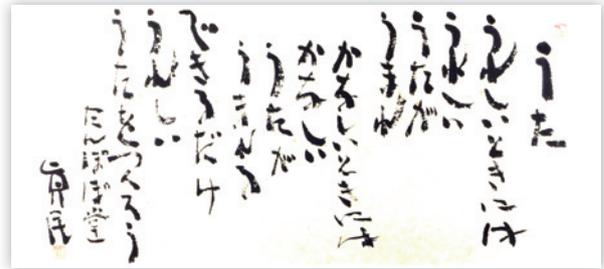
こうした真民80歳～97歳までの最晩年の生き方と、そこから生れた作品を展示、解説しています。



「砥部時代の坂村真民展 第一部(10月5日まで)」では、陶人形作家・森元青芳さんの初期の頃の貴重な人形が多数展示されている(稲荷喜久夫さんのコレクション)

常設展

代表的な真民詩を展示しています。初公開の作品が6点あります。「鳥は飛ばねばならぬ」、「時」、「うた」、「七字のうた」、「時間をかけて」、「あとから来る者のために(6曲屏風)」



ちょっと手ほどき

砥部時代の真民さん その2 真民さんを支えた久代夫人の美質

真民さんの人生は、母と杉村春苔尼さんという二人の女性が重要な役割を果たしていますが、夫人の久代さんもまた、真民さんを支えた、かけがえのない人でした。

真民さんは、貧乏生活に愚痴ひとつ言わず、黙ってついてきてくれる夫人に感謝をするだけでなく、年を重ねるごとに、夫人の持つ美質に気づいていったようで、砥部に移り住んでは、からは、とりわけ、夫人をよんだ詩を作っています。

このひと

このひとは
生まれながらにして
神に愛され
仏を持つひと
わたしは
生まれてから
神を知り
仏を持つ者
だからどうしても
かないっこない
また一つ年をとり
そのことをいよいよ
痛感する

喜びの中に生を受け、たっぷり愛情

を注がれて育った久代夫人は、天の恵を受けたような明るさと大らかさを持つていたように思われます。母の素晴らしさと春苔尼さんの素晴らしさとも違う久代夫人の天賦の性に驚き、舌を巻く真民さん。このころ作られた「このひと」という同じタイトルの詩では、次のようにもつたっています。

どんなにしても勝つっこない

このひとの素質の美に打たれ

世阿弥の言う

散らで残りし花を感じる

老いた中にも美しい残花を持つ夫人。

夫人もまた真民さんの魂に、特別な影響を与えた人だったのです。



坂村真民記念館を応援しています



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



人の命の幅が大きくなり、深くなると光を放つと真民先生は云われた。

食物は、本来の姿は透明感があると佐藤初女先生は云われた。

透明感のある光を持つ人が増えていく。

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp/> メール kao@nagiso.co.jp

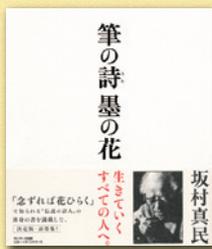


医療法人 誠志会
砥部病院
TOBE HOSPITAL

〒791-2114 愛媛県伊予郡砥部町麻生40-1 TEL089-957-5511

希望
漫然と生きているのが
一番いけない
人間何か希望を持たねばならぬ
希望は小さくてもよい
自分独自のものであれば
必ずいつか
それが光ってくる
そして
その人を助けるのだ

坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!

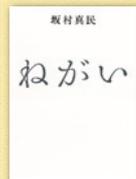


定價=本体3500円+税

筆の詩墨の花

サンマーク出版

坂村真民の本



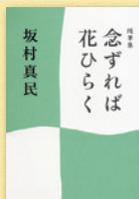
ねがい

東日本大震災復興
への祈りをこめた
特別版詩集。

定價=本体950円+税

随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定價=本体各1800円+税



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



刊行後16年で
10万部の
超ロングセラー!

定價=本体各1000円+税

詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

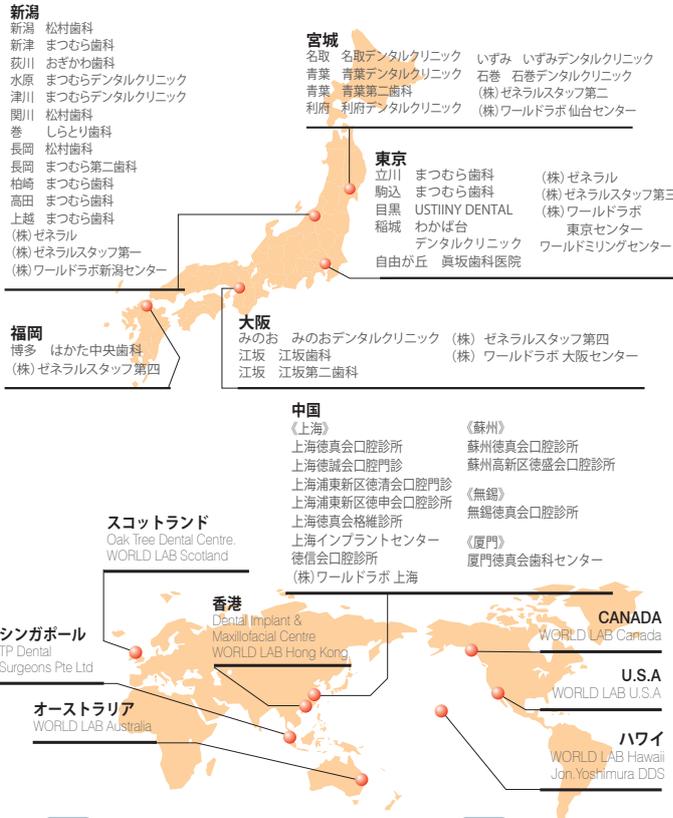
いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ



「医療は人なり」の診療概念をもとに患者第一主義の歯科医療グループです。
国内外37ヶ所の歯科医院を展開し、年間80万人の治療に携わっております。

徳真会 検索 www.tokushinkai.or.jp



<p>新潟 松村歯科 新潟診療所 ☎025-201-1885 まつむら歯科 新潟診療所 ☎0250-24-6688 おぎかわ歯科 ☎0250-23-4880 まつむらデンタルクリニック 水原診療所 ☎0250-62-2151 まつむらデンタルクリニック 津川診療所 ☎0254-92-0150 松村歯科 関川診療所 ☎0254-64-1201 しらとり歯科 ☎0256-72-1771 松村歯科 長岡診療所 ☎0258-28-4108 まつむら第二歯科 (長岡市) ☎0258-31-7202 まつむら歯科 柏崎診療所 ☎0257-20-0310 まつむら歯科 高田診療所 ☎025-521-6780 まつむら歯科 上越診療所 ☎025-522-6001</p> <p>宮城 いずみデンタルクリニック ☎022-253-1588 青葉デンタルクリニック ☎022-348-2125 青葉第二歯科 ☎022-348-1085 利府デンタルクリニック ☎022-766-4130 名取デンタルクリニック ☎022-381-0921 石巻デンタルクリニック ☎0225-25-5088</p>	<p>大阪 江坂歯科 ☎06-6386-0233 江坂第二歯科 ☎06-6310-7660 みのおデンタルクリニック ☎072-749-2080</p> <p>東京 まつむら歯科 駒込診療所 ☎03-3949-8818 まつむら歯科 立川診療所 ☎042-538-1088 USTINY (アスティニー) ☎03-6431-8633 わかば台デンタルクリニック ☎042-350-5671</p> <p>福岡 はかた中央歯科 ☎092-892-5134</p> <p>中国 廈門徳真会歯科センター ☎86-592-2290088 上海徳真会口腔診所 ☎86-21-5208-0208 上海徳誠会口腔門診 ☎86-21-6340-0290 上海浦東新区徳清会口腔門診 ☎86-21-5030-7858 上海浦東新区徳申会口腔診所 ☎86-21-6856-1040 上海徳真会格維 ☎86-21-3366-6129 徳信会口腔診所 ☎86-21-6268-2286 蘇州徳真会口腔診所 ☎86-512-6763-5720 蘇州高新区徳盛会口腔診所 ☎86-512-6803-2501</p>	<p>無錫徳真会口腔診所 ☎86-510-85281121 Branemark Osseointegration Center ☎86-21-6289-8101 株式会社ワールド・ラボ 新潟センター ☎0250-23-2009 大阪大阪センター ☎06-6190-2660 仙台センター ☎022-348-1206 東京センター ☎03-6431-9239</p> <p>WORLD LAB U.S.A Ultimate Styles Dental Laboratory ☎1-949-727-0121 徳真会歯科制作(上海)有限公司 ☎1-949-727-0822 ☎86-21-5270-1325</p> <p>株式会社ゼネラル、株式会社ゼネラルスタッフ第一～第四 本社 ☎025-201-1183 新潟本部 ☎0250-25-2016 東京本部 ☎03-6431-9809 大阪本部 ☎06-6310-6066 福岡本部 ☎092-892-5134</p>
---	---	---

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください [坂村真民記念館 友の会](#)

《編集後記》 友の会の会員数が、減少傾向にあります。新規入会者もあるのですが、期間満了後に更新をされない方が多いのが現状です。入館料無料以外は特段のメリットもなく申し訳ありませんが、皆様からの会費は記念館の日常活動に欠くことのない貴重な財源となっています。未だ更新をされていない方には、是非とも更新をお願いいたします。是非お知り合いの方にもお薦め下さい。よろしく願いいたします。(西)

タンポポだより vol.10 秋号

平成26年9月1日発行
発行元／坂村真民記念館友の会事務局
〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内
TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

[坂村真民記念館]
開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)
休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日
入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり